

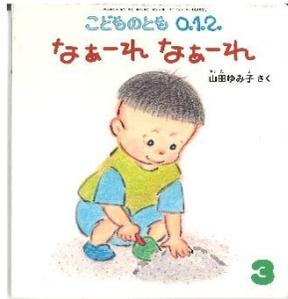


# ～えほんだより 3月号～



## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「なあーれ なあーれ」



「なあーれ なあーれ ○○になあーれ」…「ちちんぷいぷい」のように魔法のことばをかけると、つみきが上手に高く詰めるよ。でんじゃが上手にな並べられるね。「おさら おさら きれいになーれ」でもぐもぐきれいに食べられる。おにいちゃんのトンネルやクレヨンぐるぐるもじょうずにできるよ。魔法のことばだね。

### 2歳児 「ワンピースちゃん」



お洗濯をされて庭先に干されている黄色い「ワンピースちゃん」。こんこちゃんばかり公園にでかけて「ずるい」…と思っていたら、風が吹いてきてお空に舞い上がりました。そのまま公園をめざしてふわふわとんでいくワンピースちゃんは、「やははーい よほほーい」と嬉しそう。公園について「やははーい よほほーい」とよろこんでいると、びゅーっと風が吹いてきた…

### 3歳児 「つくしがいっぱい」

わたしとおにいちゃん。おばあちゃんの家に行くときに近道の土手を歩くと、あっ…つくしです。つくしの頭を触ると緑色の粉がほわほわでてきたよ。「ほうし」って言って、「たね」みたいなものなんだって。つんつん ほわほわ。つんつんつん ほわほわほわ。つくしは食べられるっておばあちゃんに教えてもらった。おばあちゃんのおみやげに、つくしをいっぱいつんでいこう。あたたかくなったら、「みどりのこな」見たいね。



### 5歳児 かがくのとも



「なにがはいつているのかな？」みんながもってる大きな荷物。「なにがはいつているのかな？」あけてみるといろいろな部品。組み立てたら自転車だ。背負っている大きな荷物は何がはいつているのかな？キャンプで使うテントだよ。長くて重たそうな荷物は何が入っているのかな？伸ばして組み立てたら天体望遠鏡。細長い荷物は？あたまが隠れるくらい大きな荷物は？待ち合わせで5人組。それぞれ形が違う大きな荷物。いった何が入っているのかな？

「なにがはいつているのかな？」みんながもってる大きな荷物。「なにがはいつているのかな？」あけてみるといろいろな部品。組み立てたら自転車だ。背負っている大きな荷物は何がはいつているのかな？キャンプで使うテントだよ。長くて重たそうな荷物は何が入っている

### 5歳児 「ジッタとゼンスケ はなみにいく」

ジッタとゼンスケはおおかみのきょうだい。二人は花見をするために山から下りてきました。すると、ねこの女の子ねねこがかけよってきました。みどりの着物を着た男の子、おとうとのやんたとはぐれてしまったとか。ジッタとゼンスケと一緒に探すことにしました。さるの大工やきつねのそばや、いのししのおすもうさんにしかのわがしや。いたちのちょうちんやも一緒にさがしてくれました。すると、子どもが井戸に落ちたと大騒ぎ。さあ大変!!



### ～今月のセクション～



ある日、たぬきの家のとなりにきつねが引っ越してきました。きつねのおくさんはたぬきのところへいちごをもってあいさつにいきました。たぬきのおくさんは「おがえしをしなくちゃ」とたけのこをもっていきました。するときつねの奥さんは、おがえしのおがえしに素敵な花瓶とお花を持っていきました。今度はたぬきの奥さんが「おがえしのおがえしのおがえし」をしなくては、絵とつぼをもっていきました。それから「おがえしのおがえしのおがえしのおがえしの…」が続き、もう家の中にもっていくものがなくなり、たぬきの奥さんは子どもを連れていきました。きつねの奥さんも子どもをつれていきました。もう何もなくなり、最後はたぬきの奥さんが、そしてきつねの奥さんがおがえしのおがえしのおがえしのおがえしの…いったいどれだけおがえし？…最後はどうなるのかな？ …面白いお話でした。

### 「おがえし」

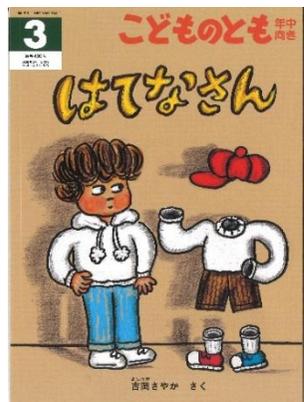
ある日、たぬきの家のとなりにきつねが引っ越してきました。きつねのおくさんはたぬきのところへいちごをもってあいさつにいきました。たぬきのおくさんは「おがえしをしなくちゃ」とたけのこをもっていきました。するときつねの奥さんは、おがえしのおがえしに素敵な花瓶とお花を持っていきました。今度はたぬきの奥さんが「おがえしのおがえしのおがえし」をしなくては、絵とつぼをもっていきました。それから「おがえしのおがえしのおがえしのおがえしの…」が続き、もう家の中にもっていくものがなくなり、たぬきの奥さんは子どもを連れていきました。きつねの奥さんも子どもをつれていきました。もう何もなくなり、最後はたぬきの奥さんが、そしてきつねの奥さんがおがえしのおがえしのおがえしのおがえしの…いったいどれだけおがえし？…最後はどうなるのかな？ …面白いお話でした。

### 3月3日はひな祭り「桃の節句」ですね。女の子の健康と成長を願う行事です。

この日は、ひな人形を飾りますが、その起源は、平安時代の「流し雛(ながしびな)」という風習にさかのぼります。そんな流し雛のおはなしや、なぜおひなさまをかざるのか…「わたしのおひなさま」「ひなまつりにおひなさまをかざるわけ」はおひなさまの由来が子どもたちにもわかりやすいお話になっています。



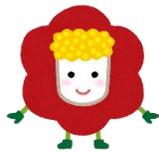
「もりのひなまつり」は蔵にすんでいるねずみに野ねずみから「おひなさまをもりにつれきてください」と手紙が来て、蔵のおひなさまたちが森でひな祭りを楽しむお話です。おひなさまたちはすっかり汚れてしまって、さあ大変!! わくわくどきどき。3歳ころから楽しめそうなお話です。



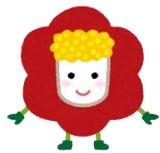
### 4歳児 「はてなさん」

きいろい服を着た「はてなさん」がいた。赤い帽子をかぶった「みえないこ」もいる。「はてなさん」の家にあそびに行くことになった。そこにははてなさんだけでなく、のっそり首輪をつけた「なにか」がくんくんにおいをかいで、ぺろっとなめられたような気がした。新しく引っ越したマンションに、まだ友だちはいないけど、はてなさんやみえないこ、たくさん誰かと楽しくパーティ。なんだか「はてな」なお話です。





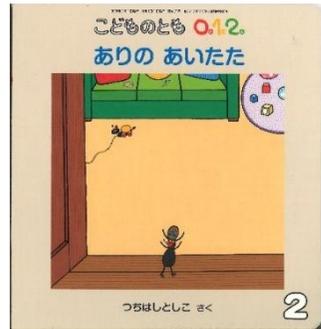
# ～えほんだより 2月号～



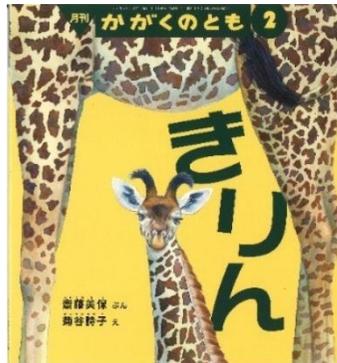
## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「ありのあいたた」

「やっほー」ありさんの大冒険が始まります。  
 小さなありさんにとっては、どれも大きくなって不思議。  
 テンポの楽しいことば。はっきりとした色使いが  
 とても見やすく、からだを使って親子でありさんにな  
 りきって遊べる絵本です。  
 最後は「いたいの いたいの とんでけ～」って。  
 なにがおこるのかな??



### 5歳児 かがくのとも

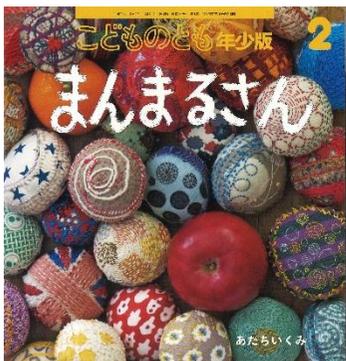
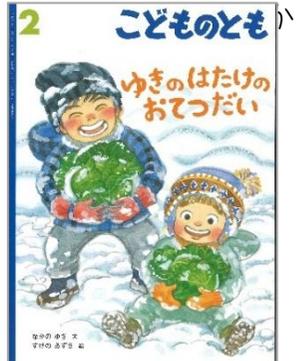


「きりん」  
 アフリカの草原に住むきりんのお話。きりんは地球の中で一番大きいどうぶつです。とげのある木でも器用に食べます。長い首を上手に使って暮らしています。きりんは背が高いだけでなく目もよいので、遠くに見える危険などうぶつにいち早く気

づけます。子どもを狙うものはライオンだって向かっていくお母さんきりんです。そして、夜はぐっすり眠る子ども達が襲われないように、大人のきりんは眠らない。きりんの発見がたくさんの絵本です。

### 5歳児 「ゆきのはたけのおてつだい」

雪の中で大きくなるキャベツの収穫。いつもはお父さんの仕事だけれど、今日はお兄ちゃんのこうたと、弟のはるきも一緒です。鼻の奥がツーンとするほど寒いけれど、お父さんの大人になった気分です。お兄ちゃんのこうたは何度もお手伝いしているのだから。弟の春樹は初めてですが、「きょうははかどるなあ」とお父さんはうれしそう。雪の中のお手伝いで手はすぐく冷たいけれど、心が温くなるお話です。



### 2歳児 「まんまるさん」

みんな大好きな「〇まる」のお話。たくさんのまんまるさんが、仲間を探しにでかけます。りんごやたまごにクリームパン・・・もっともっとたくさんあるね。絵本を読んだ後は、お部屋の中をさがしてみましょ。外にも、空にもまんまるさんはあるかしら? 同じようでちょっと違う。違うようで同じ形。

### 3歳児 「くるまをあらおう」

子ども達が大好きなくるま。ごしごし洗いながら、おおきなくるまを近くで見よう。あれ? タイヤってギザギザしてる。数字はでこぼこ。鏡もあるよ。雨の時にガラスをふいてくれる「くろいぼう」はワイパー。くるまのやねはとっても広い。タオルでごしごしふくと...僕の顔が映ってる。うしろのガラスには空が映ったよ。大人のお仕事は面白くて楽しい発見がいっぱいだね。



### ～今月のセレクト～



### 「いちごばたけのちいさなおばあさん」

いちごが美味しい真っ赤になるのはちいさいおばあさんのおかげ? いちごばたけの土の中には小さいおばあさんが住んでいました。冬が過ぎ、春が来るのを待つはずなのに、今年はなんだか少しも寒くなりません。百段の階段を上ってイチゴの畑に出てみると...大変だ、いちごの実がなる準備が始まっています。大急ぎでいちごの色を作ります。百段の階段を上ったり下りたりして、とうとう甘くて真っ赤ないちごが出来上がりました。ホッとしてひと眠りしていると...大変です。あたり一面真っ白なゆきのはらになっていました。

せっかく真っ赤にしたいちごはどうなったのかしら...

### 4歳児 「きのめとことり」

「もういいかい」「まあだだよ」えださきについている小さな木の芽と、きたかぜがかくれんぼう?? 春はもう少し先のようです。一週間、そしてまた一週間。待ちきれない木の芽がぼっかりめをだしてしまいました。すると、次の日は雪が降ってしまいました。またまた一週間がたち、本当のあたたかい日がやってきて、木の芽たちは次々に芽をだし、森はみどりでいっぱいになりました。こんな風に冬は春へと変わっていくのですね。

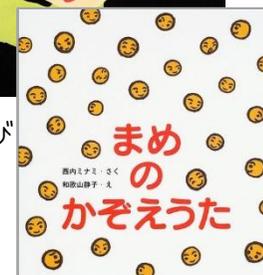


### 2月と言えば「節分」です。

保育園でも豆まきをして鬼退治をします。行事が理解できるようになるのは幼児になってから...ではありますが、節分に関する絵本は、小さい子向けにも出ています。

難しい意味は分からなくても、リズムやことばあそびで楽しむ方法は色々です。

恵方巻絵本もありました。一緒に読んで、親子で恵方巻づくりも楽しそうですね。



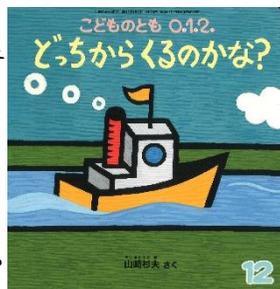


# ～えほんだより 12月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「どっちからくるのかな？」

う～う～、だだだだー、ゴットンゴットン、パタパタ…  
街の中を歩いている時、公園で遊んでいる時、いろいろな音が聞こえていきます。「あれ？どっちからくるのかな？」  
「来た来た」「いたいた」こんなやり取り、必ずありますよね。  
見開き2面を使って「どっちかな～」「あっ、こっちから」とページをめくる時、わくわく・どきどき…楽しくなる絵本です。



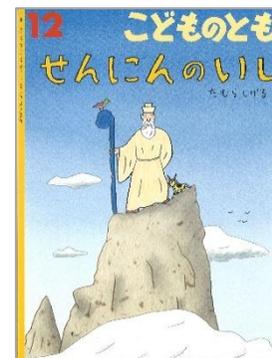
### 5歳児 かがくのとも 「つくってあそぼう！つりぼり」

玩具をつくって遊ぶ…  
昔あそびはほとんどがそうですね、子ども達が大好きな魚釣り遊びで、魚だけでなくいろいろな種類の生き物を作って遊びます。釣り竿は磁石なんて使いません。作るのも楽しい、釣るのも面白そうです…やりたい気持ちになる絵本です。  
どこにでもある材料なので、家庭でも楽しめます。遊びを作り出すカこそ「生きる力」ですね。



### 5歳児 「せんじんのいし」

ボノさんは玄関の前に大きな石を見つけました。庭に捨てても、森に捨ててもその石はボノさんの家の前に戻ってきます。困ってもっと遠くに捨てようと、トラックで遠くの海へ行き、捨てました。帰ってみると石は家の前には戻っていません。「やった いしはうみのなか」安心したボノさんが家に入ると濡れた石はテーブルに。なんと「ハクション」と声がする…。この石、いったいどんな石？



### 2歳児 「やきやき てっぱん」

やきやきてっぱん なにやける？焼いたらおいしいものができる。たい焼き、たこ焼き、卵焼き。ホットサンドにお好み焼き。食べる時は熱いけど、鉄板があるとおいしいものができるね。  
絵本の中のことばのリズムが歌のようで、とても耳心地のよい絵本です。昔話の歌絵本のような気持ちで、親子で一緒にたのしめよう。作りながら口ずさんでも楽しそうなお話です。

### 3歳児 「くんくん すぴすぴ」

くんくん すぴすぴ…犬のニコはいろんなにおいを嗅ぎます。くんくんすぴすぴ お土産のにおい。くんくんすぴすぴねこのにおい。くんくんすぴすぴ 犬はお尻のにおいをかいでお友だちになるそうです。はなちゃんもニコとお友だちになりたいくて、そっと手のにおいをかがせてあげました。  
犬をよーく観察すると知らなかったことがたくさんありそうです。くんくんすぴすぴ…私たちの周りのいろんなにおい…ニコをまねてみる？…



### ～今月のセレクション～

### 「サンタさんからきたてがみ」

クリスマスの前の日、ネズミの郵便屋さんがはりきって手紙の配達に飛び出します。「うわっ」急ぎ過ぎたネズミさんはすってんころりん。すると、大切な手紙が雪の中に飛び出しました。慌てて拾い集めたのですが、1通の宛先が雪に濡れて読めなくなってしまいました。



困ったネズミさんに気づいた森の動物たちが一緒に考えているうちに、なんと「サンタさん」からの手紙だとわかって大慌て。さあ、手紙にはなんて書いてあったのでしょうか？動物たちが力を合わせて素敵なクリスマスを迎えるお話です。



### 4歳児 「ゆきがまちどおしい ヤチネズミさん」



キツネやタカ、テンやフクロウが怖くて、畑のすみの草むらにくらしているヤチネズミさん。寒くて南へ飛びたつノビタキや雪が嫌いなリスが不思議に思うけど、ヤチネズミは雪が待ち遠しいようです。あつめた草を噛んで糸にして、雪を待ちながらきれいな織物を織っています。雪は少しずつ降り、とうとう窓が埋もれるほど雪は積りました。きれいな織物とよもぎのお茶をつつみ、しっかりとからだに巻き付け、スコップで出口をつくり、雪の中をほってほって掘り進みました。ヤチネズミさんは一体どこに出かけたのかな？寒くても心が温くなるお話です。



12月と言えば「クリスマス」な感じですが、日本の文化に関する絵本も読んでほしい。「十二支のはじまり」実は幼児さんの劇遊びに取り入れられるくらい、子ども達も大好きな絵本です。干支を順番通りに言える？…大人もちょっと怪しかったりしますよね。この絵本は、干支の順番だけでなく、どうしてこの動物たちになったのか…も教えてくれます。

「十二支のしんねんかい」は語呂のよい言葉やユーモラスな言葉に乗せて、干支の紹介と干支のみんなで新年会の絵本です。温かい絵も楽しめます。「おせち」…おせちの絵本？と思いがちですが、意外と人気の絵本なんですよ。





# ～えほんだより 11月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「とことこ くまさん」

くまさん くまさん とことこ 子どもたちの大好きなくまさんが森の中をとことこお散歩しながら、秋の「おいしいもの」をみつけに行くお話です。

### とことここ がりがりがり み一つけた

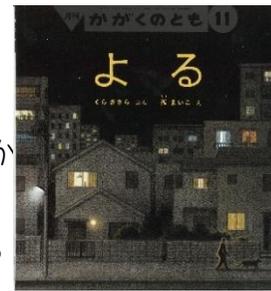
テンポの良いことばがたくさん。公園などをお散歩するときに、絵本のフレーズのように感じたものを音にして、目と耳、リズムでお話を楽しみましょう。



### 5歳児 かがくのとも 「よる」

当たり前毎日訪れる「よる」子どもたちにとってよるはちょっと怖く、でもよるに出かけるとなんだかいつもよりちょっとドキドキしちゃう。

そんなよるにみんなが眠っている間、公園や商店街、線路、信号はみんなと同じように眠っているのかしら。大人にとっては当たり前のことも、子どもたちにとっては知らないことばかり。新しい気づきになりそうな1冊です。



### 5歳児 「つちくれたちの どろかれー」

ある公園の寒い朝。つちのかたまり

「つちくれたち」のお話です。

土の中にあるつちくれたちが集まる秘密のお店のおいしいどろかれーが食べたくて、ちいさな3人



が奮闘します。ちょっとあきらめなくなった時もあったけれど、さあおいしいどろかれーはどうなったかしら？



### 2歳児 「ちいさな しろい こねこちゃん」

足の一つが痛いかわいそうなこねこちゃん。もりのおいしゃさん ふくろうせんせいにみてもらうために ひとりよたよたあるいていきます。ふくろうせんせいによると「おやゆびがまっしろだ」って。でもね、先生にみてもらったら うちまでぴよんぴよんかけてくれたの。

さあ、ふくろうせんせいはどんなことをしてくれたのかな？

### 3歳児 「みんなの かきのみ」

この季節、給食でも登場する「かき」。木になっている柿をどれくらいの子がしているかしら。

自然いっぱいのおばあちゃんのおうちに遊びに行って、木になっている大きな柿を見つけました。木になっている柿を見た時、柿を触った時、ふんずけちゃった時・・・小さな経験に大きな発見がいっぱいです。おばあちゃんちの柿だけれど、自然の中のみんが食べに来る・・・だから「みんなのかきのみ」なんだね。



## ～今月のセクション～ 「とらっく とらっく とらっく」

乗り物の絵本?? 乗り物にはあまり興味がないからな...表紙からはそんな感じを受ける絵本です。確かに乗り物の絵本ですが、なんだか自分がとらっくに乗っている...のではなく、とらっくになった気持ちになる絵本です。

走っている時のとらっくから見えるほかの働く自動車や景色。そしてとらっくが走っている時のとらっく自身の気持ち。

調子に乗り過ぎておまわりさんに叱られた時の運転手さん...を近くで見ているとらっくの気持ちが伝わってくるようです。

お話の主人公が生き物ではなくても、お話の中でなりきって、その時の気持ちを自分のことのように感じられるのが絵本の面白さですね。



### 4歳児 「あいうえどうぶつ おやすみなさい」

あいうえおおあくび うさぎです・・・あいうえおと動物をマッチングしたことば遊びの絵本です。

子どもたちの知っている動物たちですが、動物たちを表現することは目新しく、絵はやさしい世界を作っています。

そろそろひらがなに興味を示す年齢。絵本をまねて、親子で違ったことば遊びの絵本作りも楽しめそう。

「おやすみなさい」で、寝る前の読み聞かせにもぴったりの絵本です。



保育室からとってもかわいいお話が聞けました。10月号3歳児クラスの絵本「おつきさまとさんぽ」を子どもたちの前で職員が読んだ時のことです。読み終わった後に

「ぼく、昨日お月さま見たよ」「私も見たよ」「ぼくも・・・」「保育園の近くでもみたけど、おうちの近くでもみたよ」「あれ？お月さまってたくさんあるの？」

大人には当たり前の出来事ですが、この「不思議」が大事。大人に言われて「そうなんだ」では終わらず、「あれ？」「なんで？」そして「知りたい」・・・これこそが学びの芽生えです。

そして、お月さまのこんな絵本も合わせて読んでみては・・・

お月様が1つだと気づいていない女の子の絵本です。あこちゃん、おかあさんと一緒にかえります。「おかあさん、アフリカにもおつきさまある？」「あるわよ」あこちゃんはほっとしました。「おつきさまがみーんなにひとつずつあって、よかったね」

あこちゃんはあるしんしてかえりました。

心が温くなるお話です。



# ～えほんだより 10月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「ペンペンぽろろん」

子どもたちの大好きな「音」と「繰り返し」を楽しめる絵本です。題名になっている「ペンペン ぽろろん」はペンペン草を表した音。

「ととととと ととととと」という単純な音や、「ぽっぽこ ぽこぽこ ぽこんぽこん」と真似をするにはちょっと難しい音まで。音に合わせて読み手の表情がかわるのも楽しそうですよ。「なんのおと」…答えまでのドキドキ感が大好きです。



### 5歳児 かがくのとも

#### 「リレーするじどうしゃ」

はたらくるまのお話で、道路や公園がきれいに整備されるまでのお話です。

私たちが日ごろ気にせず歩いているきれいに舗装された道路や、きれいにならされた公園の広場。たくさんの働く

人と、いろいろな種類の働く車によって作業が行われています。街中では見られない大きな自動車ほとんどです。身の回りの当たり前は、実はいろいろな人や道具、機械によって造られている…そんなことを知るきっかけになる1冊です。



### 5歳児 「くまちゃんのごはんです」

絵本の醍醐味、現実とファンタジーの合体です。遊んでいるうちに遠くにとんでいってしまった紙飛行機。ときちゃんの飛行機。ずっと一緒にぬいぐるみのくまちゃんが「ぼくの出番」とばかりに紙飛行機を探しに出かけるお話です。大好きなときちゃんのためにたくさん走って水の中までじゃぶじゃぶ

なんとか紙飛行機を見つけました。あれあれ？ からだが重くて動けません。くまちゃんはどうしたのかな…?? ヒントは「ぬ・い・ぐ・る・み」です。

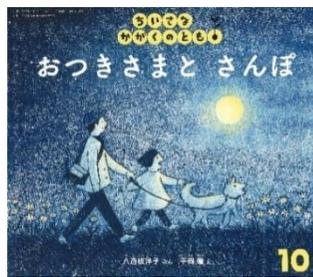


### 2歳児 「たねをたべた けもの」

けものが種を食べたら、からだからよきによき木が生え、花が開き、生き物たちまで…なんと背中が森になりました。「怖い」と「ふしぎ」が入り混じった絵本です。3歳を迎えるころには、現実のような空想のような…そんなお話も楽しめるようになってきます。「スイカの種を食べると、スイカが生えてくるよ」ちょっとそんな言葉を思い出しました。

### 3歳児 「おつきさまと さんぽ」

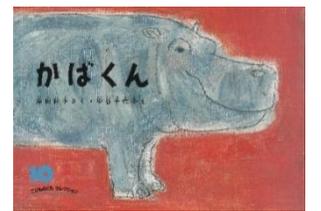
子どもの頃、だれもが一度は不思議に感じた「お月様がずつついてくる」。秋は空気が澄んで、月がきれいに見える季節。お月見にぴったりの絵本です。夜が早く訪れる季節になりました。帰り路に「本当についてくるのかな??」って親子で楽しめそうです。その不思議が、月、星、地球、宇宙…なんて興味が広がりそう。空には不思議がいっぱい。昼間と夜だけじゃなく、季節によっても変わりますね。



## ～今月のセレクション～

### 「かばくん」

子ども達に人気、ロングセラーの絵本です。一見、小さい子向けに思いがちですが、細部にまで目が向けられる表現がされているため、「あっ、ほんとか。下駄の子がいる」「わあ、キャベツが丸ごと入る大きな口。「あぶく」の大きさに目を向けるなど、幼児はもちろん小学校低学年の子でもその楽しみ方は色々のようです。「どうぶつ＝小さい子」と決めてしまうのは大人だけ。絵本の楽しみ方は無限…それを見つけるのも絵本の楽しみ方の1つです。そして、小さい時に何回も読んでもらった絵本は、いつでも、いつになっても読んでもらっていた時の「うれしくてあたたかい気持ち」にしてくれます。

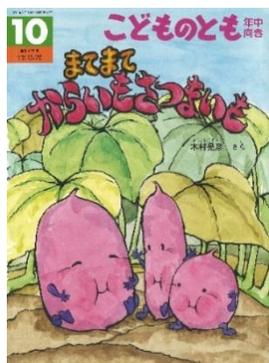
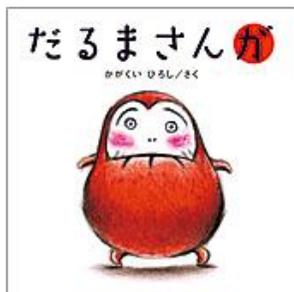


### 先日、ある保育園の「絵本の実践報告」を聴く機会がありました。

その保育園は病後児保育園です。風邪などの症状は引いたけれど、保育園の登園はまだちょっと難しい…でも仕事は休めないし…の時に利用できる保育園です。

体力も完全ではないし、いつもと違う保育園にちょっと緊張ぎみのAくんは2歳の男の子。泣くことはないけれど、保育士さんとはちょっと距離を取って表情も固かったそうです。

「どんなおもちゃが好きかな?」「ブロックする?」…そんな声をかけても、きゅっと閉じたお口は少しも緩みません。「絵本はどうか?」と保育士さんが絵本棚の方を指さすと…「あっ!「だるまさんが」だ」「Aくんのほいくえんにも、だるまさんあるよ」と、急に表情が明るくなり、大きな声がでました。そして、保育士さんが読み始めると、お膝にちょこんと座って、「どてっ」「びろ～ん」ページをめくるごとに表情は明るくなっていったそうです。絵本はどこにあっても変わらない。だから安心できる「心のよりどころ」になります。大好きな絵本は、初めての場所をいつもの保育園と同じ「安心できる場所」に変えてしまう魔法の力をもっています。



### 4歳児 「まてまて からいもさつまいも」

ころり、ほっそり、どっしりのさつまいも 3人組のお話です。芋ほりにくる子どもたちのために 3人組が準備をしていると、いのししに見つかり一番大きな「どっしりさん」が連れていかれてしまいました。ころりとほっそりの2人が頑張っどっしりさんを助け出すお話です。いのししはどっしりさんを焼きいもにしようとしています。さあ、2人のさつまいもたちはなかまを助けられるのかな??最後に秋の味覚がもう一人登場します。

# ～えほんだより 9月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「きってみよう」

ぱかっ とんとんとん ざくざくとんとん  
やさしくリズムカルな音の表現。

子ども達は大好きです。音を真似したり、  
リズムに合わせてからだや手を動かしたり  
ばくばく食べる真似をしたり。

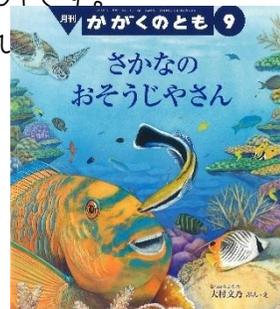
いろいろな楽しみ方ができます。そして、なんととっても元気と柔  
らかさのある色調。五感で楽しめる絵本です。



### 5歳児 かがくのとも 「さかなのおそうじ屋さん」

ホンソメワケベラという魚のお話です。海には大き  
な魚から小さな魚までたくさんいます。大きな魚の方  
が強くて威張っているかと思いましたが、なんと、小さ  
な魚に助けってもらうこともあるようです。

それがからだや口の中の「おそうじ」です。  
飲み込まれそう・・・と心配になるけれ  
お掃除をしてもらう魚も、間違っ  
て食べてしまわないように  
「あーん」と口を開けたまま  
気を付けているようですよ。  
海の生き物の不思議です。



### 5歳児 「すうじむらのおみせ」

1から10までの数字たちがお店屋さんをしていま  
す。「数」ではなく「形」に似たものを売っているよう  
ですよ。5歳になればそろそろ数字や文字に興味  
が広がります。どちらも最初は「形」。記号やマークの  
ように興味をもて覚えて

身の回りや  
街の中に、「すうじ」  
に似た形をみつけて  
みましょう。商品  
を見つけられなかった  
4のよんちゃんに  
おしえてあげるといいかもね。



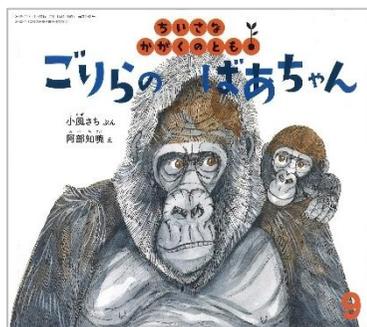
### 2歳児 「へーん! しーん!」

へーんしーんの掛け声で、ひげがはえたり、しましま模様  
になったり・・・あれあれ?? ほんのちょっと変わっただけな  
のに、全然違うものになったよ!

なぞなぞ形式で、ワクワクドキドキしながら大人も子どもも  
一緒に楽しめる絵本です。「へーん! しーん!」は一緒に掛  
け声をかけちゃおう。まだ少し夏を感じる変身です。

### 3歳児 「ゴリラのばあちゃん」

お年寄りゴリラにスポットを当てたお話は初めてです。  
ゴリラと言えば力強さのイメージですが、  
おばあちゃんゴリラは人間のおばあちゃんと同じようです。  
このお話を通して、家庭の中の、そして子どもにとっての  
おばあちゃんの存在を感じます。とくに、3歳から4歳と  
いえばお兄ちゃん、お姉ちゃんになるちょっとした寂しさを  
経験する子も。そんな時におばあちゃんの存在は絶大ですね。



### ～プラスワンのご紹介～ 「ぐりとぐら」

大人も知らない人はいないほどの名作「ぐりとぐら」

50年以上も前に出版された絵本です。  
ぐりとぐら ぐりとぐら...という響きがとても耳心地がよく、また食  
べることやクッキングが大好きな子は特に楽しんでいるよう  
です。この絵本にでてくる大きなカステラ。「作ってみたい」と挑  
戦する親子さんもたくさんいるようです。

子ども達はぐりとぐらのように、自分も森の中を散歩したり、楽しいことに出会ったりして、絵本  
中で素敵な体験をしています。(したような気持ちになっています)

3歳からが対象になる絵本ですが、大人になってこのシリーズを読み返し、いくつになっても  
楽しめるぐりとぐらです。ちなみに、私は「ぐりとぐらの1ねんかん」が大好きです。あそびの杜図書  
室にもあります。大人にお勧めします。

### 4歳児 「ピッテラトッコ キャンプに行く」



湖に到着した時にはリュックの中の材料が空っぽです。リスさんどうする?

ピッテラトッコはレストランを開いているリス。お休  
みの日に湖でキャンプをしようと、た〜くさんの材料をも  
ってでかけました。すると、お留守番のきょうだいさぎ  
や、お父さんが熱を出して困っているタヌキ、お母さんの  
ために誕生日ケーキを作りたいくま。リスさん、みんなの  
ためにおいしいものをたくさん作っていたら・・・あらあら

保育園の貸し出し  
絵本もたくさん利  
用してください。  
希望の絵本があれ  
ばリクエストを。  
みんなで「あそび  
の杜図書館」をつ  
くりましょう

AI やチャット GTP、授業ではタブレットが使われ、絵本もタブレット収納で、読み上  
げまでしてくれる時代。読書離れがどんどん進んでいます。子ども達は大きくなる  
につれ「自分の好み」が出てきます。その選択肢の中に「本を読む」ことが入って  
ほしい・・・私はこの思い1択です。ある大学の理学療法学科教授のごとばです。

読書は関心を探り、想像力を養い、脳を活性化し、語彙力を高め、人に伝える力を培  
う。これらは保健・医療・福祉の 専門職にも必要な能力であり、あえて本を「ぐり  
と文章に向き合う時間を大切にすることをお勧めする。

たくさんの可能性を持つ子どもたちが、自分の選択した夢に  
向かっていくその時にも、実は「読書」は大きな力の土台となります。





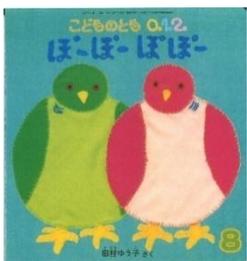
# ～えほんだより 8月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「ぼーぼーぼー」

はとが1羽いました。ちょっとさみしかったけれど、もう1羽きて2羽になりました。うれしくてぼーぼーぼー。2羽で巣をつくり、たまごが生まれましたよ。ぼかぼかの日も雨の日もたまごをあたえました。するとたまごがうごいたよ。ぴきぴき ぴきき…。

絵や写真と違う、やわらかくあたたかい絵本です。



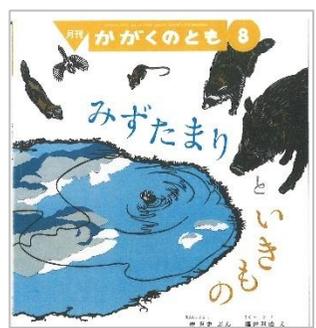
### 5歳児 かがくのとも

#### 「みずたまりといきもの」

生き物にとって水はとても大切。森の中にできた水たまりを、色々な生き物がそれぞれに関わる姿が描かれています。

飲み水として、水浴びとして小鳥から獣まで、水たまりはその形を変えながら生き物の役に立っているようです。

子ども達も水たまりが大好き。街の水たまりと森の水たまりは違うけれど、街の水たまりも鳥や虫にとって大切な場所なのかもしれませんね。

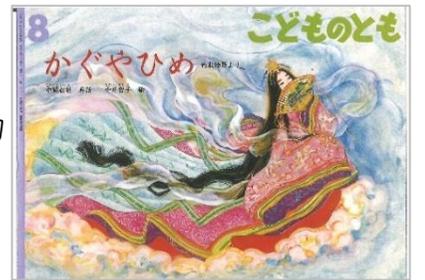


### 5歳児 「かぐやひめ」

日本最古の創作文学といわれている竹取物語を幼児向けに再話した本格的なかぐや姫のお話です。いろいろな絵本が出版されている今ですが、日本の昔話は子どもたちに知ってほしいものです。

大人の私たちもよく知っているお話。日本画の特徴的な色彩は視覚からも楽しめます。

この1冊が昔話を楽しむきっかけにしてほしいです。



### 2歳児 「ジャングルバス」

運転手はマントヒヒ、お客さんはイボイノシシとヤマネコ、ハシビロコウに牛カモシカ。終点の「あおぞらいちば」まで買い物に行くためにバスに乗っています。

そのあとも次々にバス停でお客さんが乗り込んできます。キリンにワニになまけもの。最後は大きなゴリラまで。満員バスの中はどうなってるの??

### 3歳児 「むしのへんしん」

男の子が外でへんてこな虫をつかまえて、おうちに連れ帰ったお話。へんてこな虫は蟬の幼虫です。

高い場所に上って、動かなくなって、気付いたらセイになっている。そんなセミの不思議が絵本になっています。

公園でつかまえたセミ。その近くでみかける「ぬけがら」時期によってセミの種類が変わりますが、親子で探しに行くと、絵本のように羽化するところを見られると楽しそうですね。



### ～プラスワンのご紹介～ 「すいかのたね」

おひさんピカピカひかってうれしい日に、ばばばあちゃんはにわにすいかのたねをまいたんだ。

そんなばばばあちゃんの様子を見ていた子猫がスイカの種を掘り返し…がっかり。そんな子猫の姿を見ていた子犬が種を掘り返し…がっかり。またまた、その子犬の姿をみていたウサギが種を掘り返し…がっかり。でもね、実はこの時種がブルブル震えたのをウサギは気付きませんでした。

ウサギの様子を見ていたのはきつねです。きつねも同じように掘り返し…がっかりしてポイツ。その時、種がガチガチ ギチギチ言ってたんだけど、キツネは気がつきません。キツネが何かを埋めた様子を見ていたばばばあちゃんが掘り返し…がっかり。その時自分がスイカの種をまいたことを思い出しました。「いいかげんにめをだしておおきくおなり!!」ばばばあちゃんのことばにスイカの種は「あつたまにきた。」さあ、スイカはどうなったのかな??

保育園の貸し出し絵本もたくさん利用してください。希望の絵本があればリクエストを。みんなで「あそびの杜図書館」をつくりましょう

暑さ厳しい毎日です。この時期しかできない水遊びを楽しんだ後は、ちょっと静かに絵本タイムです。自分の好きな本を選びながら、好きな場所で絵本を楽しんだり、「先生、よんで～」と選んだ本をもって来たりして過ごします。

子ども達に「絵本のどんなところが好き？」と聞いてみました。

「先生が読んでくれるから」「いろいろなお話がおもしろい」

「見たことない虫とかがある(見られる)」

「本を見て遊べるところが好き」「絵がかわいい」 子ども達はそれぞれの表現で伝えてくれました。

絵本を大好きな子はいても嫌いな子はいません。

それが「絵本」の魅力です。



### 4歳児 「かみちゃんといしちゃん」

紙ちゃんと石ちゃん。まったく違う性質のものが友達になるお話です。2つが遊んでいる中に、紙と石の性質が上手に組み込まれています。薄い紙も筒状にすると強くなって重い石がのってもつぶれないことや、風に飛ばされそうな紙の重しになる石など、日常の中で何気なくやっていることがお話になっています。

お話の最後は、濡れてしまった紙が石の上でひと休み。すると紙ちゃんが…



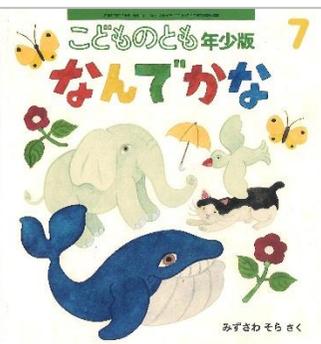


# ～えほんだより 7月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「にゃんころたいそう」

猫の親子が体操をしています。  
 ごろん にゅーっ にゃんころにゃんころ  
 ぐーぱーぐーぱー 大きな口をあけたり、ごろん  
 としたり・・・優しい色彩で優しい絵。  
 音を十分に楽しんだら、ページに合わせてからだ  
 を動かすのも楽しそう。いろいろな読み方ができ  
 そうです。



### 2歳児 「なんでかな」

ぞうさんのおはながながいの なんでかな・・・？  
 から始まって、いくつもの「なんでかな？」  
 身近な動物たちの「なんでかな？」は 2歳児さんには  
 ちょうどいい「なんで？」「どうして？」の時。  
 絵本でたのしみながら親子で「それはね・・・」と楽しめ  
 うな絵本です。

### 3歳児 「なつにみつけた いいものいくつ？」

なつにみつけた・・・季節のお話のようですが、それだけ  
 ではなく「数」。これはなにかな？いくつあいくつあるかな？  
 4歳になる子どもたちは、だんだん数を理解してきます。  
 お勉強のように学ぶより、生活や絵本の中で楽しみなが  
 ら「数」を知る・・・生きた学び、知識になります。



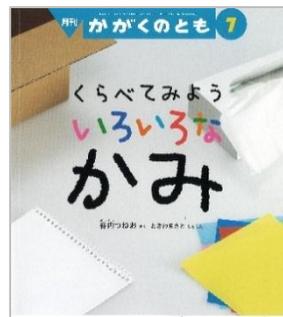
### 4歳児 「ノムとノマの のいちごつみ」

森にすむ小さなひとたち ノムとノマがナワシロ  
 イチゴ(のいちご)つみにでかけるお話です。  
 笹舟をつくり出発するのですが、途中で船に水が  
 入ってしまったり、枯葉や草にのりあげたり・・・。  
 やっとの思いでナワシロイチゴを採り、笹舟に乗  
 せて帰る時。バッシューン！とつぜん目の前に  
 大きな水しぶきが・・・。

### 5歳児 かがくのとも

#### 「くらべてみよう いろいろなかみ」

生活の中でいろいろ見かける「紙」柔らかさや厚さ、  
 でこぼこ・・・よく見ると色々な種類があるね。  
 クレヨンで色を塗ったり、  
 折り曲げたり、破ったり  
 丸めたり・・・  
 紙の種類によって違いがいっぱい。  
 このちょっとした気づきが、  
 次への「やってみよう」につながり、  
 「知る」ことの楽しさにつながります。  
 実は面白いって身近にいっぱいあるんですね。



#### ～プラスワンのご紹介～ 「たなばた」

たなばたの話って知っていますか？7月7日は七夕で、おりひめさま  
 ひこぼしさまのお話だということは子ども達も知っているようです。  
 保育園でも七夕に合わせて短冊に願い事を書き、笹飾りにします。  
 この絵本は幼児さん向けで年齢によっては少し難しいかもしれませ  
 ん。でも、たなばたという身近な言葉で子ども達はきっと興味を持って聞いてくれることでは  
 しょう。ひこぼしとおりひめの素敵なお話・・・と思っていたのですが、うしかいのちよっといたずらが  
 始まり。そして、実は子どもがお母さんであるおりひめに会える日が七夕のようです。  
 絵本の最後にこう書いてあります。

たなばたに あめがふるのは おりひめがながすなみだなのです。

なつのおぞらに ひろくみえる あまのがわ

そのりょうがわに つよくきらめくひたつのほしが うしかいとおりひめです

そして うしかいのそばにふたつ ならんだちいさなほし

あれが ふたりのこどもたちです

保育園の貸し出し絵  
 本もたくさん利用し  
 てください。  
 希望の絵本があればリクエストを。  
 みんなで「あそびの  
 杜図書館」をつくり  
 ましょう

幼児棟の子ども達にとって「としよしつ」で過ごすことが日常の一コマになっています。  
 日々、給食後のはみがきがおわると食休みとして図書室で過ごす・・・という時間をと  
 るようにしていますが、それが生活の一部になったと実感したことがありました。  
 先日「早朝散歩」の行事があり、その日はみんなで豚汁朝食をたべました。  
 なんと、子ども達は朝食を食べ終わると大人に何か言われたわけでもなく、  
 図書室で絵本を選び自分で読んだり、読んでもらったりしていました。

子ども達にとって絵本を読むことが身近になってきたと感じたうれしい瞬間でした。





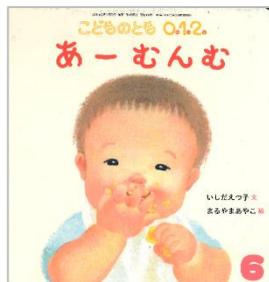
# ～えほんだより 6月号～

## 【今月の絵本紹介】

### 0歳児・1歳児 「あーむんむ」

あーむんむ あーむんむ・・・ご飯をおいしそうに食べる赤ちゃん。うれしい顔、びっくりした顔。どんどん上手に食べられるようになるよ。

離乳食が始まったのちゃんや、自分で上手に食べられるようになった子どもたちにぴったりの絵本です。最後は一緒に「ごちそうさまでした」のいいお顔。



### 5歳児 かがくのとも

「オオコウモリのにぎやかなよる」

沖縄に生息するオオコウモリの1日が描かれています。活動は夜。

ガジュマルという木の実が大好きなオオコウモリは、近くにほかのオオコウモリが来ると怒ってしまうほど食いしん坊です。そして、羽を伸ばすとなんと1メートルもあることや、いつもぶら下がっているコウモリたちがおしっこする時はなんと・・・。自分の住む日本だけれど、知らないことっていっぱいあるね。これをきっかけにいろいろ調べたら楽しそう。



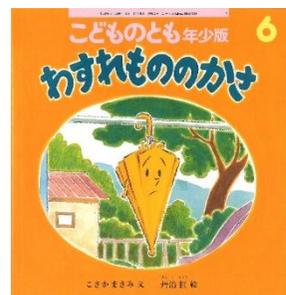
### 5歳児 「そうじきにまちがえられたそう

そうじきこうじょうの こうじょうちょう」

そうじきにそっくりなぞうの工場長のお話です。おやつを食べてウトウトしていたら、新米の作業員に掃除機と間違えられ、箱詰めされてお店で売られてしまいました。こんなに掃除機っぽいぞう(笑)

買われていった家では掃除機として使われる工場長。その家での出来事や、工場長と気づかれるまで、ずっと楽しいお話です。

この絵本、大好き。



### 2歳児 「わすれもののかさ」

公園に忘れられた黄色い傘。誰もお迎えに来てくれないから、自分で家に帰ることに・・・。

飛んだり浮かんだり、カタコト タタタ、トトと大冒険です。ちょうど長靴を履いたり、傘を自分で上手に持てるようになったりする2歳児さんにぴったりのお話です。

傘もみんなと同じようにお家に帰りたいよね。

### 3歳児 「すうる すうる ぴたん」

誰もが通りかたつむり飼育。女の子がうちで飼っているかたつむり(でんでんむし)の「でんちゃん」のお話です。くっついている場所に合わせて、からだを動かすかたつむりの様子が目に浮かぶように描かれています。ニンジンを食べる姿には「ほんと??」「そうかも」・・・大人はそんな気持ちになります。

子ども達はきっとかたつむり探しにいきますね。



### 4歳児 「あめのひのえんそうかい」

6月と言えば雨。そんな季節にぴったりのお話です。

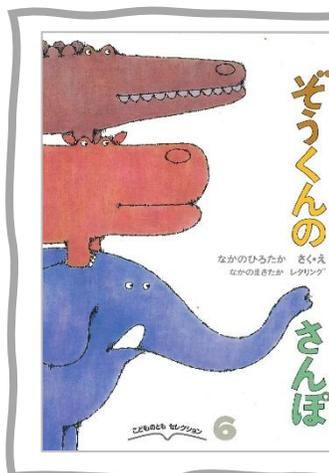
風の吹く雨の日は、いろいろな音がする。

音を楽しんでいると、次々に動物も来たよ。

鳴き声や水たまりの音をみんなで合わせていくと、楽しい演奏会のように。気分よく演奏会を楽しんでいるとだんだん音が小さくなり・・・雨が上がりました。すると・・・気がいたらみんなもいなくなっていました。

夢? ほんと? 絵本ならではの楽しさのあるお話です。

いろいろな音を試してみたくになりますね。



### ～プラスワンのご紹介～ 「ぞうくんのさんぽ」

子ども達が大好きな定番の人気絵本です。ちょっとのんびり屋でひとのいいぞうくんがみんなを散歩に誘って出かけます。「ぞうくんはちからもちだね」ちょっとうれしいけれど「ちょっとおもいな」って。

かばくん、ワニくん、最後にかめ君を乗せたら・・・どぼーんって

みんなで池に落ちこちた。でもね、天気がよくていい気分。みんなと一緒に楽しいね。

先日、図鑑絵本が保育園の図書室に仲間入りしました。

この時期は戸外遊びが盛んになり、外から戻ってきたときには、子どもたちはいろいろな虫や木の実、お花や野草を手を持って帰っていきます。最大の被害者(笑)はやはり「ダンゴムシ」です。小さなプラスチックケースを手に出かけていき、帰りにはころころコロコロ・・・。プラケースの底は丸い物体でいっぱいです。「だんごむしつかまえたよ」と、捕まえた子もそうでない子も嬉しそう。「かうの?」「なにをたべるの?」そんな相談をしながら、結局元の公園に逃がしてあげることになったようです。実は、乳児棟の目の前が公園なのですが、捕まえたのは別の公園。「仲間がいるはずだから元の公園にもどしてあげよう」と担任の先生の発案だそうです。なんてやさしい・・・。

絵本を見て「このむし、さがしにいこう」とか、捕まえてきた虫と絵本を見比べながらあれこれと調べたり・・・。子どもたちは上手に絵本を利用していますよ。絵本があそびにつながるって楽しいですね・・・

保育園の貸し出し絵本もたくさん利用してください。希望の絵本があればリクエストも。みんなで「あそびの杜図書館」をつくりましょう





# ～えほんだより 5月号～

## 【今月の絵本紹介】

子どもは、絵本の中に入りこんで一緒に体験しています。大人になってからでは絶対にできない、不思議な経験を絵本の中に入ることができるのです。

### 0歳児・1歳児 「だーれか だーれか」

「ぶんぶんぶん だーれか だーれかいませんか」  
そんなフレーズを繰り返しながら、はちが友だちを増やしていきます。これからの季節に見られそうな虫がでてきます。子どもは見つけてもらうのが大好き。「だーれかだーれかいませんか」と探してあげると楽しい遊びが始まりそう。



### 2歳児 「かっけっこ」

ゴールを目指して走ったり、坂を駆け下りたり上ったり、もちろんジャンプも上手になる2歳ごろの子ども達にはピッタリのお話です。絵本を何度も読んだ後に、絵本のフレーズを使いながらからだを動かすのも楽しそう。動物たちの表情が楽しい絵本です。

### 3歳児 「わたしのむしとり」

この季節になると、子ども達の虫取りがはじまります。一人前に(?)虫取り網をつかって虫取りに挑戦するころ。大きな道具に振り回されるけれど、こんな経験で使い方を知ったり、虫取りの楽しさを知ったりするのかしら…ね。



### 4歳児 「どろんこ どろっちょ」

はるくんが泥だんごづくりに苦戦しています。どうやってもうまくできません。すると泥の中から「どろっちょ」が現れます。「かわきすぎ」「みずがおおいよ」って教えてくれて、その通りに作ったら上手にできました。もう1つ作ったら…あれあれ、どろっちょがいなくなっていました。  
泥だんご作りは、子ども達にさせたいあそびの1つ。公園の土では難しいのだけれど、是非、親子で挑戦してほしいです。



### 5歳児 かがくのとも

#### 「あまがえるーたんぼのうたー」

あまがえるの1年を描いたお話です。最近おたまじゃくしも見られなくなりました。きっと最近の子どもたちはかえるは「川」で見かけるようです。でも、かえるといえばたんぼ「なんで」すよね。  
たんぼのある地域では、梅雨から秋にかけてかえるの大合唱が聞こえます。この本で知りました。(私だけ?)あまがえるといえば緑色だと思っていましたが、まわりにあわせて色が変わるんですって…



### 5歳児 「ひでのひみつ」

なんだか昔話のようなお話ですが、田畑のある地域の日常の出来事。家の仕事を当たり前の手伝っている子、広い畑で駆けまわりながら遊ぶ子。そんな日常の中に、親ひばりと子ひばりの親子の姿や、親やぎと子やぎの様子などがそっと描かれています。地方のことは「方言」がたくさん出てきます。お子さんへの読み聞かせ前にぜひ「予読」をして、方言に慣れておくとも面白さ倍増です。



### 絵本って…

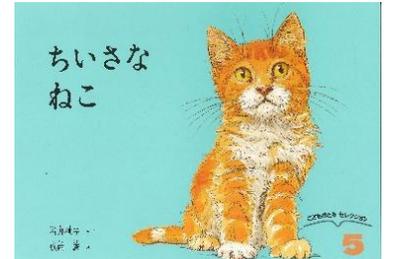
絵本にはよく「読み聞かせなら〇歳から、自分で読むなら△歳から」と示されています。そのため、大きくなったら赤ちゃん絵本は卒業…と考えがちですが、赤ちゃん向けの絵本は、こんどは字が読めるようになったら自分で読むにはちょうどよい文字数です。単純な文章なので、文字を拾ってことばの意味を読み取ることもしやすいですね。  
赤ちゃん当時にその絵本を読んであげた時のお子さんの姿など話してあげるのもうれしい時間になるはずですよ。



### ～プラスワンのご紹介～

#### 「ちいさなねこ」

ちいさなねこにとっては、全てが大きな世界。家の中にいたこねこが大冒険。家の外は、車も犬も大きくて、怖くて驚くことだらけでした。大きな犬にほえられて木の上に逃げていったこねこ。こねこの声を聞きつけたお母さんねこが助けにきてくれました。  
小さい子向けの絵本にもなりますが、ねこの生体は描かれている絵本でもあり、そして、最後は「やっぱりお母さんの近くが一番あんなにできるね」という優しい気持ちになる絵本です。  
お母さんねこにくわえられて連れていかれるときのお母さんの顔にワスっとします。安心感を得た時の呆然とした表情のようです。



### ～絵本だより 発行について～

絵本だよりにはおおまかなあらすじや、どんな遊びができそうかな…などを載せていきます。今月号はどんなお話をお知らせすることで、絵本が手元になくても、お子さんとの話題作りに役立てていただければと考えています。  
分園では、食後や夕方の自由遊びの時間など、図書室で過ごす子がふえてきました。図書室の一角は看護師さんの場所でもあるのですが、看護師さんにもたくさん絵本を読んでもらっています。同じ絵本でも、読み手によってその面白さが違うようです。絵本の楽しみ方は奥が深いようですよ。乳児棟の子ども達も、活動の合間に先生に読んでもらう絵本が大好きな様です。

保育園の貸し出し絵本もたくさん利用してください。希望の絵本があればリクエストを。みんなで「あそびの杜図書館」をつくりましょう





# ～えほんだより 4月号～

## 【今月の絵本紹介】

子どもは、絵本の中に入りこんで一緒に体験しています。大人になってからでは絶対にはできない、不思議な経験を絵本の中に入ることができます。

### 0歳児・1歳児 「みんないいおかお」

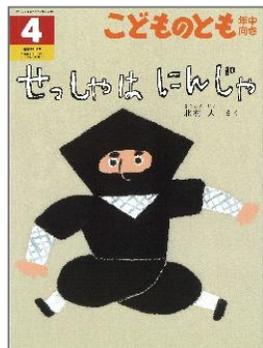
「わんわん」「にゃあにゃあ」  
なじみのある動物のお顔から始まり、最後は赤ちゃんのかわいいお顔。「〇〇ちゃんこっちむいて」と名前を入れて読んで(呼んで)あげるとうれしそうです。



2歳児 「おやつですよー」  
6ぴきの子ねことママねこちゃん笑顔になれる子ねこのなまえです。みんなでおいしいものを作ります。2歳になると大人の真似がしたくなる…真似から新しい「できる」「やりたい」が生まれるはずです。



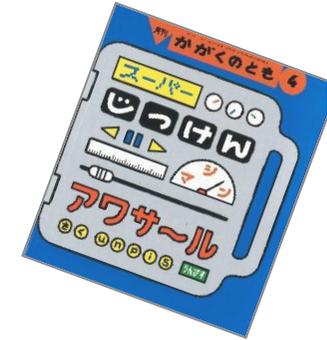
3歳児 「おみずでおえかき」  
4歳になる年齢には、身の回りの「ふしぎ」に気づきます。今日は、身近にある「水」。乾いた場所に水をたらすと「おやおや？」・・・「あっ、きえた！」  
この絵本を読むと、すぐにやってみたくなりそう。これからの季節、楽しめそうです。



4歳児 「せしやはにんじや」  
「せしやはにんじや 〇〇にんじや まきものくわえて だろんどろん」  
テンポとリズムがなんだか楽しい。お話も楽しいけれど、動きを付けながらリズムを楽しむこともできる絵本です。

### 5歳児 かがくのとも

「スーパーじっけんマツンアワサール」年長さんになると「知的好奇心」がむくむく…でも、科学的ですごく難しい…というお話でもなく、現実的な実験ではできないけれど「もし〇〇と××が合体したらどうなると思う??」という想像力をかきたてられる絵本です。「じゃあさ、▲▲と■■ががったいするとどうなる??」なんてあそびが広がります。



### ～絵本の扱い方～

0歳児のころから絵本に親しみ、玩具ではない「絵本」の扱い方を見せると、本をぽつと投げたり、踏んだりしなくなります。「大事にしようね」という気持ちを伝えていきましょう。「また読もうね」と本を片付けるようにしていくとよいでしょう。「上手にしまえたね」と声をかけてあげると一層気持ちが伝わります。



### ～保育室から～

「子どもたちに絵本のある環境を」という思いで、昨年度はこれまで以上に日々のあそびや生活の中に絵本を取り入れてきました。新年度になり、新しく担任をもった保育士さんから同じような声が聞こえてきました。それは「ふだんちょっと落ち着きがない子ども、絵本が始まると真剣な顔をして聞いている」ということです。「どの子どもも絵本が大好きで、絵本を読み始めると**すごく集中してきています**」1歳児クラスの保育士談。まだ1歳児なのに…と驚いていました。  
たった1年、環境や大人の意識をかえるだけでも、こんなに子どもたちの姿が変わるんだと実感しました。電子機器、動画が手軽な時代だからこそ、せめて就学までの6年間は、大人の声の心地良さとページをめくるわくわく感、そして絵本の中の世界を楽しんでほしいと感じています。大人にも絵本好きになってほしいです。

### 5歳児 「バルバルさん もりへいく」

子ども達が大好きな「バルバルさん」シリーズです。弟子入りしたおさるさんのアイデアで困りごとをどんどん解決して、バルバルさんの手助けをしていくお話です。



お客さんになった動物や人間の手伝いをするおさるさん。絵本だからこそその楽しさがいっぱい詰まっている1冊です。

### ～プラスワンのご紹介～

#### 「めっきらもっきら どおんどん」



へんてこな世界に迷い込んだ「かんた」のお話です。ちょっと怖いけれど、どきどきする大好きなおばけがでできます。子ども達に人気の絵本。その理由の1つがくりかえしててくる異世界への「フレーズ」です。気になる方はぜひ読んでいただくとよいと思いますが、この絵本を読んだ後は、そのフレーズを口ずさみたくなるようです。日常と異世界がつながっていることのおもしろさ。躍動することばと絵が子どもたちを存分に楽しませてくれるファンタジーの絵本です。今月の「こどものともセレクション」がこの絵本でした。大人が読んでも楽しい絵本で、私もハードカバーの本を持っています。



保育園の貸し出し絵本もたくさん利用してください。希望の絵本があればリクエストを。みんなで「あそびの杜図書館」をつくりましょう